



満開の桃の花で卒業式も晴れやかに

今年もみんなに
 桃の花がプレゼントされます



届けます
 桃の花に込められた温かい思い

「花の会」では五年前から矢板市内の幼稚園・保育園、小中高校の卒業式にあわせ、また市役所・警察署などに桃の花をプレゼントしています。

この事業は会員から提案され、小口会長はじめほかの会員に異存のあるはずもなく、早速その年から始められました。「春を楽しんでもらいたい」という気持ちから、山田にある鈴木斌

(さかん)さんの畑で仕立てられている四十本の桃の木の花が、校舎の中や施設を淡いピンク色で飾っています。つぼみがふくらみ始めた四十本の桃の木にはしごをかけ、会員自らのこぎりとせん定ばさみで、枝を切り込みます。桃の枝は配布先ごとに束が作られ、そこにメッセージが添えられ、担当者を決めて届けるそうです。

日新小学校では「毎年桃の花が届くのを楽しみにしています。今年は卒業式と閉校式が重なるので、早めに桃の花を届けてもらいました。三月十八日の閉校式は満開の桃の花で飾るつもりです」

小学校の統廃合により、今年が最後となる長井小学校・上伊佐野小学校かと花の会へ要望が届いているそうです。まだ蕾のままですが、暖かい部屋で大切に保管され当日は満開の花が飾られることでしょう。



日新小学校では子どもたち手作りの「おひなさま」にも桃の花を添えお祝いをしました。



はしごに登って
 みんなで枝きり！
 毎年楽しんでます

二月二十八日、花の会の会長・班長さん九人が集まったのは、山田の桃畑。

脚立にのぼり枝を切る人、切った枝を束ねる人、作業を分担し次々と手際よく桃の花束が出来上がります。

その束をふと見ると「卒業おめでとうございませぬ」と筆文字で書かれた紙が…。「統廃合で入学式のない三校には、とくに奇麗な桃



の花で児童を送り出して欲しい」と、皆さんの顔に笑顔がはじけます。

「自分の家だけ花できれいに飾りたいという人はここにはいません。どちらかというと、自分の家をきれいにしたいという人ばかり。ご主人や家族に少しぐらい言われてもめげない元氣な人ばかり」という声に爆笑がわきました。

きれいな桃の花と一緒に皆さんの元氣もおすそ分けしてもらっているようです。